

科目名	コーチング論		担当者名	石松秀文(イシマツヒデフミ)	
開講年次	2	開講時期	前期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	選択	単位数	2
ナンバリング	D4050	該当DP	DP1,DP4		
授業概要	スポーツ指導者として、適切な人間関係を結ぶためのコミュニケーション能力獲得の方法、指導現場で発生する諸問題を適切に解決するためのスキルの獲得、選手を取り巻く諸問題をマネジメントする能力の獲得や指導者として身につけておかなければならないモラル等について学び、実際のスポーツ指導に必要な基礎的な知見を身につけることをねらいとする。				
到達目標	①スポーツ指導者に必要な知見を学び、学んだ事柄を活用し指導することができる。 ②スポーツ指導に伴う諸問題をマネジメントすることができる。 ③スポーツ指導者として守るべきモラルを理解することができる。 コーチングについての本質を理解し、トップアスリートから初心者まで様々なカテゴリーで体育・スポーツ指導者としての資質を育むための基本的知識を身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業外学習（内容と時間）		
	1	ガイダンス コーチングとは何か(コーチとコーチング コーチング制度と組織)	予習・復習	60分	
	2	スポーツ指導者の役割と今日的課題(人権・体罰・各種ハラスメント)	予習・復習	60分	
	3	スポーツとは何か 日本独特のスポーツ観	予習・復習	60分	
	4	コーチが持つべき5つの顔	予習・復習	60分	
	5	競技者の成長に応じたスポーツ指導(発育発達との関係)	予習・復習	60分	
	6	スポーツにおける「心技体」+知 コーチの役割	予習・復習	60分	
	7	スポーツ指導における安全管理、健康管理	予習・復習	60分	
	8	前半授業のまとめ(中間考査)	予習・復習	60分	
	9	スポーツ指導とコミュニケーション力(選手・指導者間の信頼関係)	予習・復習	60分	
	10	スポーツ指導とマネジメント力(リーダーシップ、フォロワーシップ)	予習・復習	60分	
	11	コーチング活動①練習計画と試合準備(練習構成・競技トレーニングの計画)	予習・復習	60分	
	12	コーチング活動②コーチングのマネジメント(チームビルディング・タレント発掘)	予習・復習	60分	
	13	コーチングの科学と情報を考える(スポーツ医・科学、情報による支援)	予習・復習	60分	
	14	スポーツ指導と行政(一貫指導システム、ナショナルスポーツトレーニングセンター)	予習・復習	60分	
	15	今後のスポーツ指導の方向と課題 講義のまとめ(期末試験の解説)			
教科書	必要資料は講義内容ごとに配布する				
参考書	「コーチングへの招待」日本コーチング学会 編集 大修館書店 「知的コーチングのすすめ」勝田 隆 著 大修館書店				
成績評価	方法	割合	備考		
	筆記試験	60%	テストによって評価する(返却なし)		
	授業レポート・中間考査	20%	課題に対してのレポート提出 期限厳守(返却なし)		
	授業ファイル 記録	10%	授業の資料をポートフォリオして提出する(定期点検)		
	授業への参加意欲	10%			
履修上の注意	スポーツの指導を自分自身の専門種目に置き換え、あるいは将来スポーツ指導者になったときに活用するという考え方で受講すること。また、スポーツ心理学やトレーニング理論など、今までに学習した事柄を基礎として授業が展開されるので、関連する授業科目の復習が必要となる。				
実務経験との関連	中学校保健体育科教諭としての経験より、学校体育が目指す「生涯スポーツ」の実践者を育成することを目標とする。また、トレーニング指導者育成のためのトレーニング指導及びコーチングについて研究する。				
オフィスアワー	講義時間・出張時 以外		メールアドレス	h_ishimatsu@orioaisin.ac.jp	